

会 議 録

(4-1)

会議の名称		令和3年度 第1回 春日部市地域福祉計画審議会							
開催日時		令和3年8月6日(金)	<table border="1"> <tr> <td>開 会</td> <td>午前・午後</td> <td>1時30分</td> </tr> <tr> <td>閉 会</td> <td>午前・午後</td> <td>2時30分</td> </tr> </table>	開 会	午前・午後	1時30分	閉 会	午前・午後	2時30分
開 会	午前・午後	1時30分							
閉 会	午前・午後	2時30分							
開催場所		春日部市総合福祉センター 講習室1・2							
議長(会長等)氏名		木下 聖							
出席者	委員氏名	(出席人数：12人) 木下 聖、小保方 敏美、中村 高子、手塚 明正、久保谷 昌夫、野村 善晶、鈴木 浩子、時田 美野吉、永田 京子、藤井 由美子、岩井 通雄、竹田 正則							
	説明者 その他	(出席人数：1人) 生活支援課社会福祉担当主任 大河原 弘樹							
	事務局	(出席人数：5人) 福祉部長 宇内 啓介 福祉部次長兼生活支援課長 飯口 信彦 生活支援課社会福祉担当主幹 佐藤 淳一 生活支援課社会福祉担当主任 大河原 弘樹 生活支援課社会福祉担当主事 都筑 陽子							
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開 会 2 会長あいさつ 3 新任委員紹介 4 議 事 (1) 令和2年度進捗状況の評価について(公開) 5 その他 (1) 今後のスケジュールについて 6 閉 会							
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：							
配布資料		春日部市地域福祉計画審議会委員名簿 令和2年度 事業別目標シート(資料1) 令和2年度 春日部市地域福祉計画 総合評価シート(資料2) 総合評価シートの計算方法について(資料3) 今後の春日部市地域福祉計画審議会 開催スケジュール(資料4)							
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録							
会議録署名の指定		会長による署名							

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【 1 開会】
会 長	【 2 会長あいさつ】
事務局	【 3 新任委員紹介】
	【 4 議 事】
	(1) 令和2年度進捗状況の評価について
議 長	事務局より説明をお願いします。
事務局	≪議事(1) 説明≫
議 長	ただ今の説明につきまして、委員の皆様からご質問等がありますか。
委 員	資料からも読み取れるとおり、間違いなくコロナの影響があると
	言えると思います。その中で、今までどおりの評価の表現で良い
	のか、工夫をして事業を実施したものに対して適切な評価と
	なっているのか、疑問に感じます。
委 員	コロナの影響下においても、一生懸命に工夫されている事業もある
	ので、杓子定規に評価をしない方が良いと思います。
委 員	再度全ての事業について再評価をすることは難しいので、総合評価に
	対して注釈を付記し、今回の評価について理解できるようにすること
	で良いのではないかと思います。
事務局	検討いたします。
委 員	前回の会議において、評価は行政側だけでなく市民側の意見を
	踏まえる必要があると提言したが、どのように反映されているのか、
	教えていただきたい。
事務局	評価は前年度の取り組み結果について評価するものになりますので、
	市民側の意見を反映できるのは早くても来年度以降の評価からに
	なります。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	今回の評価にあたっては、行政内部でどのように調整・協議・検討がされているのでしょうか。
事務局	各課で作成した評価シートを事務局で確認した上で、必要に応じ記載内容の再調整を各課と行っております。
委 員	<p>評価シートについて各課は、統一見解をもって作成していますか。質的評価シートで作成されていても量的な評価をしているものがあると感じます。</p> <p>また、ほとんどの事業が引き続き事業を実施するとなっているが、しっかりと事業内容をチェックし、改善した上で事業を継続すべきである。次年度の課題の記載欄で検討をした経緯がわかるようにしていただきたい。</p> <p>事業名と内容が異なるのに、評価及び評価に対する記載などが全て同じ事業がありますが、全て同じというのはおかしいと思います。</p>
事務局	対応について検討いたします。
委 員	成年後見の市長申立は具体的に何件ありましたか。
事務局	本日はデータを持ち合わせていないため、後日回答いたします。
委 員	市長申し立ては、最後の砦なので、費用措置を行うのは当たり前で、この評価方法だと、申請数にかかわらず、5年間ずっと評価Aとなる気がします。埼玉県内全市町村の半分以上は社協や法人が主体となって成年後見の前段階の擁護を必要とする人に支援をする動きがあります。春日部市は、全然そういう動きがないという事に、私は危機感を感じます。
委 員	春日部市は手話通訳者が居るが、要点筆記者はいません。しかし、事業として挙げているからには市として取り組むべきだと思います。事業の一部の量的な目標値に対する結果だけではその事業の質的な評価ができていないと感じます。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	<p>評価の下がった殆どの事業が、コロナの影響であると明示されている中で、注釈を入れて公表するという方法と、C評価D評価等について、もう一度担当に戻して評価を再度していただく方法の2つがあると思いますが、そこは事務局とで私が確認をして進めるという事で良いでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《異議なし》</p>
議 長	<p>もう一度、会議を開催するかについてはいかがでしょうか。その他（1）今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">《その他（1） 説明》</p>
委 員	<p>今の事務局の話だと、あと1回しか会議ができないということなので、私は、いい意見を出していただいた方が沢山いらっしゃるわけですから、また会合を持ちましてみなさんにご確認いただいた方が、より効果的ではないかと思います。</p>
委 員	<p>令和2年度の課題と今後の方針の部分が、令和3年度の評価の布石となるため、課題と今後の方針の部分を各担当に戻していただいて、どのようにかえって来るかを知りたいです。</p>
議 長	<p>それでは、次回も令和2年度の評価について、もう一度話をさせていただいて、法改正など、次の計画改定に向けた内容も含めながら、話し合いたいと思います。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">【6 閉 会】</p>

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和3年9月17日

署名者の職・氏名 春日部市地域福祉計画審議会 会長 木下 聖（原本は自署）